

「とびばこあそび」

令和 5 年 9 月 6 日（水） 5 校時

児童 6 名

本単元で育成する資質・能力

主体性・自己有用感・説明力

1 単元のデザイン

【単元観】

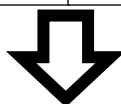
本単元は、小学校学習指導要領解説体育編【B 器械・器具を使つての運動遊び】に示されているように、器械・器具を使つての運動遊びについて次の事項を身に付けることができるように設定されている。

- (1) 器械・器具を使つての運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
エ 跳び箱を使った運動遊びでは、跳び箱を使つて跳び乗りや跳び下り、手をついてのまたぎ乗りやまたぎ下りをしながら、いろいろな乗り方や着地の仕方を工夫すること。
- (2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

【児童観】

本学年に 6 月実施したアンケートによると、「体育が楽しい」という児童が 90%と高く、日頃の体育の授業も意欲的に活動している。特に「ボールなげゲーム」の単元では、自分達で話し合いながらコースを作ったり、教え合いをしたりすること、自分の習熟度にあつた技を選びながら達成感を味わっていくことに楽しさを感じている傾向にある。

また、体育は楽しいと感じているが苦手意識のある児童や、運動に夢中になり安全のきまりを守ることが難しい児童がいる。



【指導観】

① 児童が提示された選択肢から、自己決定する場の設定

- ・ほかの児童の発言やよい動きを積極的に見つけて、選択しの一つとして自分の動きに取り入れている場面。
- ・教師の例や教科書を参考にして、自分で工夫しながらいろいろな動きを見つけ楽しく取り組み、自分の力にふさわしい動きを考えている場面。

「特に配慮が必要な児童への手立て」

- 低い跳び場を用意したり、マットを跳び場のかわりに設置したりして恐怖心を和らげる。また、いろいろな器具を用意して複数の中から自分に合ったものを選択できるようにする。

② 対話的な学びの場の設定

- ・グループの構成を工夫しグループごとに「友達が楽しめるように」という考えを基に工夫を加えたりする場面。
- ・グループでオリジナルコースを考えて跳び箱遊園地を作成する活動を通して、仲間と協力する場面。

「特に配慮が必要な児童への手立て」

- 自分が見つけたり考えたりしたことを、友達に伝えている児童をしっかりほめたり、友達と伝え合う場面を積極的に設けたりする。

2 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
跳び箱遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、跳び箱を使って跳び乗りや跳び下りをしたり、馬跳びやタイヤ跳びをしたりするなどして遊ぶことができるようにする。	機械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	跳び箱遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①跳び箱遊びの楽しさに触れながら、遊び方について言ったり書いたりしている。 ②跳び箱を使って手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをして遊ぶことができる。	①器具を用いて遊び方を工夫している。 ②考えたことを友達に伝えている。	①跳び箱遊びに進んで取り組みようとしている。 ②順番やきまりを守り、誰とも仲よく遊ぼうとしている。 ③場や器具の安全に気を付けながら活動している。

4 単元の学習計画

次	学習内容	評価				個別最適な学びを実現するための手立て
		知・技	思判表	主体的	評価規準 (評価方法)	
1	安全な跳び箱あそびの方法について、学習の見通しを持つ。	①		②	学習の進め方や約束を理解している。(行動観察)	◎選択肢を示し、自己決定させる手立て ●特に配慮の必要な児童生徒への手立て
2 本時	いろいろな跳び箱あそびをする。		②	①	手の付き方や跳び下り方の気付きを友達に伝えている。(行動観察・ワークシート)	◎友達の発言や動きを確認しながら、自分が挑戦したい遊び方を見つけることができるようにする。 ●跳ぶことの恐怖心を取り除くために、跳び箱の高さや置き方を工夫するようにする。

3	跳び方を工夫しながら、器具を使ってアトラクションを作る。		①	③	よりよい手の付き方や下り方を見つけて、友達に伝えることができる。(行動観察・ワークシート)	◎今までやってきた遊び方をアレンジして、みんなで楽しめるアトラクションを作る。 ●自信が持てない児童には、できたことをほめたりして肯定的な働き方ができるようにする。
4	アトラクションを組み合わせて跳び箱遊園地を作る。	②			きまりを守って、仲間と協力したり、アドバイスしようとしたりすることができる。(行動観察・ワークシート)	◎順番を守るなどのルールの確認をし、安心して楽しく取り組むことができるようにする。 ●自己ができそうなアトラクションに挑戦して、楽しく取り組めるようにする。

5 本時の展開 (2 / 4 時間目)

(1) 本時の目標

跳び箱を使った運動遊びの行い方を知り、いろいろな運動遊びをしてみんなで楽しく遊ぶことができる。

(2) 本時の評価規準

よりよい手の付き方や下り方に気付き、ルールを守って運動することができる。(思・判・表)

(3) 準備物

跳び箱・ケンステップ・フラフープ・ガムテープ・カラーコーン・教科書のコピー・ワークシート

本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	【観点】評価規準 (方法)
	T : 主な発問・指示 C : 予想される児童生徒の反応	○指導上の留意事項 ●特に配慮が必要な児童生徒への手立て	
10分	<p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">跳び方を工夫して楽しむことができる。</div> <p>○準備運動で跳び箱を使った運動遊びをする。 ・跳び箱をまたぎ乗りしながら進んでジャンケンをする。</p>	<p>○活動の絵を提示して、見通しが持てるようにする。</p> <p>○学習カードを配り、終末での振り返りの仕方を伝える。</p> <p>○準備運動で、主運動につながる運動遊びをする。</p>	

25分	<p>○跳び箱の跳び方の工夫を交流する。</p> <p>T：どんな手のつき方をしますか。</p> <p>C：両手でつきます。</p> <p>C：指をひらいて、肩幅でつきます。</p> <p>T：どこに手をつけていますか。</p> <p>T：どうして両手をついた方がいいの。</p> <p>○いろいろな遊び方を工夫して、跳び箱を使った運動遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を叩いたり、回ったりして下りる。 ・跳び下りる位置をテープで印をする。 	<p>○自分の手のつき方に気付け、学習カードに書かせる。</p> <p>○考えを整理させて、どうしてそのつき方をするのか伝え合う。</p> <p>○よりよい手のつき方や下り方に気付かせる。</p> <p>●成功回数が増える簡単な跳び方を取り入れて、できたことを練習したりして、肯定的な働きかけができるようにする。</p>	<p>手の付き方の気付きを書くことができている。(学習カード)</p>
10分	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○器具の後片付けをする。</p>	<p>○学習カードを使って、楽しかったことの視点で振り返りをする。</p> <p>○安全に気を付けて、手際よく片付けができるようにする。</p>	<p>ルールを守って運動することができている。(学習カード)</p>